

季刊

# AMDA

多様性の共存

# Journal

2007年8月1日 VOL.30 No.5 定価600円  
発行/AMDA 〒701-1202 岡山市橋津310-1  
TEL 086-284-7730 FAX 086-284-8959

2007.8  
SUMMER



## AMDA・岡山老健協共同 新潟県中越沖地震 緊急支援活動開始

7月16日、新潟県上中越沖にてM6.8の強い地震が発生。AMDAは、岡山県老人保健施設協会（岡山老健協）と連携して、新潟県下で支援活動を開始することを決定しました。介護老人保健施設春風堂様との全面協力による支援を予定しています。なお、AMDAは、2004年の新潟県中越地震被害に対し、岡山老健協と協働で、春風堂様への人的協力を約2ヵ月にわたって実施しました。

続報はAMDAホームページを → <http://www.amda.or.jp>

### 【第一次チーム】7/16 出発

山岡 悟 (写真右) 介護福祉士  
介護老人保健施設すこやか苑サブリーダー・アスカ会災害救済室サブリーダー  
佐伯 美苗 (写真中央)  
調整員、AMDA本部職員  
山上 正道 (写真左)  
調整員、AMDA本部職員

### 【第二次専門職チーム】7/17 出発

佐藤 克義 介護福祉士  
介護老人保健施設すこやか苑リーダー・アスカ会災害救済室リーダー  
三宅 潤 介護士  
介護老人保健施設いるかの家リハビリテーションセンター  
笹邊 泰介 介護士  
介護老人保健施設和光園

【実施協力団体】(医社団) 慶友会キタムラ・介護老人保健施設春風堂様 (新潟県小千谷市)



募金を受け付けています  
振替用紙の通信欄に「新潟地震」とご記入下さい

## パキスタン南部サイクロン緊急支援活動

6月下旬、パキスタン南部で暴風雨による水害が発生し、200万人近い人が被災しました。パキスタン最大の都市、カラチ市があるシンド州でも死者は約250人、25万人が住宅を失い、30万人が避難生活を余儀なくされているとの報道発表もありました。また、インフラも多大な影響を受け、停電や上下水道の停滞も発生したため、住民への負担は更に重くなりました。このような甚大な被害に際し、AMDAは調査として本部から佐伯美苗、

ニティアン・ヴィーラヴァグの2人の調整員を派遣いたしました。

6月28日出発、30日に到着した調整員は、200人以上の死者を出したカラチ市とその周辺地域で調査を開始しました。被災地域では、幸い伝染病の流行は見られませんでした。被災住民の間では、インフラ復旧の遅れや、食料や飲料水の配給の遅れから不満が出てきているということでした。そこで、AMDAでは、被災者へ医療支援活動を指揮するカラチ市保健局に対して、復旧活動の促進を

後押しする為に、非常灯、長靴、ガスコンロ、飲料水等の物品の寄贈を行いました。また、現地の協力団体であるハムダード財団が運営し、被災者に支援を行っている巡回薬草薬局(注1)にも寄付を行いました。

ハムダード財団理事長、サディアラシード氏より「AMDAのパキスタンへの平素よりのお気遣いにご支援に心よりお礼申し上げます」というメッセージをいただきました。

今後、被災された方々がいち早く通常の生活を送れるように心よりお祈りしております。

注1) 現地の民間伝統医療薬を、車両に載せて市内を廻りながら、患者に薬を処方する移動薬局のこと。



# 「国民参加型相互扶助人道支援外交」

AMDA代表 菅波 茂

AMDAの理念は「多様性の共存」です。ミッションステートメントは「A Global Network of Partnership for Peace through Projects with Sogo-Fujo Spirit under Local Initiative」です。具体的には「国民参加型相互扶助人道支援外交」です。簡単に言えば、苦労を共にすることにより「尊敬と信頼の国際ネットワーク」を拡充することです。世界の8割の人たちは血縁共同体社会に所属しています。信頼のキーワードは「家族」です。冠婚葬祭では葬と祭が大切です。困ったときが真の友です。

AMDA 多国籍医師団がその象徴です。ASMP (AMDA医療と魂のプログラム) は葬と祭に対応します。AMDA 多国籍医師団とASMPの組み合わせがAMDA相互扶助人道支援外交の新基軸の一つです。

137番目の国連経済社会理事会総合協議資格団体として政策提言活動も本格的に考えています。

## AMDA国連スタディツアー (in ニューヨーク) プログラムの案内



AMDAは2006年8月に137番目の国連経済社会理事会総合協議資格団体として認定されました。ニューヨークとジュネーブがNGOにとって重要な活動場所です。2008年9月に第一回AMDA国連スタディツアー (in ニューヨーク) の計画をAMDAニューヨーク連絡事務所が中心となって進めています。「国民参加型相互扶助人道支援外交」の場となるニューヨークにある国連諸機関に対する理解を深めることが目的です。

写真左 国連本部と認定状

写真下 AMDA 多国籍医師団  
(2004・2005 スマトラ島沖  
大地震・津波緊急救援活動)

## インドネシア医師会と災害 協定を結ぶ。万金の価値。

2007年6月にAMDAはインドネシア医師会と災害協定を結びました。AMDAインドネシア支部が立会人です。自然災害の多発するインドネシアにおけるAMDA多国籍医師団の救援活動支援体制強化です。国全体を網羅する医師会のネットワークは万金の価値があります。引き続きアジアの国々の医師会との災害協定を進めています。



# AMDA 社会開発機構の船出に添えて

特定非営利活動法人 AMDA 社会開発機構 理事長 鈴木 俊介

これまで何度か言及させて頂いていたAMDA社会開発機構が、特定非営利活動法人として7月に出航いたしました。事務所を岡山県所管の総合福祉・ボランティア・NPO 会館2階のゆうあいセンター内に移し、気分も新たに業務を開始いたしました。ただ現行事業に対する実施責任から、当分の間特定非営利活動法人アムダの海外事業本部としての立場を兼ねたかたちの船出です。当面は近海を航行する小さな船ではありますが、「多様性の共存」という帆を張り、貧困削減という壮大なテーマと向き合い、大海原に漕ぎ出していきたいと思います。

AMDA は平和を阻害する要因として戦争、大災害、そして貧困を挙げています。また平和を今日の家族の生活と明日の希望が叶う状況と定義しています。3つの阻害要因に翻弄されることなく、また取り除くことができれば、地球上どこにいても一定レベルの平和を享受できるのではないかと思います。しかし、本来そうした状況を生み

出し維持するのは国家や国連の仕事ではありますが、そうしたアクターが時に紛争や弾圧、または不作為の当事者になることは歴史が証明するところです。戦争と災害については、その発生原因に対し自らの関与が影響を及ぼし難い「外部要因」の影響力があまりに大きく、たとえば個人や家族、コミュニティといった小さな行動主体がこれを防ぐことは不可能です。「地域」を越えた大きな枠組による解決が必要になります。しかし、そうした枠組による努力が実らない場合も多く、紛争や災害が発生し、難民や避難民への医療支援が急務となった場合は、緊急救援チームを送るという手段が唯一の選択肢となります。

## 特定非営利活動法人 AMDA 社会開発機構

(現行事業については、特定非営利活動法人 アムダ海外事業本部として実施中)  
〒700-0807 岡山市南方2-13-1  
岡山県総合福祉・ボランティア・NPO 会館2階(ゆうあいセンター内)  
TEL 086-232-8815 FAX 086-232-8816

一方貧困も平和を妨げる原因の一つです。貧困は、教育機会を十分に受けることができない、安定した雇用機会が得られない、悪天候や害虫など発生により収穫が減少する、急な出費により貯蓄がなくなる、元本+高利返済のため生産資本である土地を失う、安全な飲料水や十分な生活用水を得ることができない、保健医療や交通手段などの公共サービスへのアクセスが容易でない、など様々な側面が複雑に絡み合い、悪循環として家族やコミュニティを覆い包んだ結果です。悪循環は多面性を持っているため、その軽減、解決に

あたっては多角的な取り組みが必要となります。さらに、個人あるいは家族の単位を対象としたマイクロアプローチから国家レベルを対象としたマクロアプローチまで、様々なレベルにおける介入が可能です。従って、協力支援の形式、手法については多彩な選択肢を採用することができます。ただし、難点は上記悪循環の仕組みや複合的なアプローチをよく理解

し、現場における実施能力を会得しなければならないこと、そして長期戦を闘い抜く体力を備えなければならないということです。

AMDA社会開発機構は、こうした専門性と実行力を高める決意とともに新たな一步を踏み出しました。以下に、当法人の目的をご紹介します。皆様のご理解とご支援を賜りたくお願い申し上げます。

この法人は、主に開発途上国において、生計、健康、生活環境の向上を通じて貧困からの脱出を願う人々と共に、社会開発を中心とした国際協力事業を実施し、また、国境を越えた市民社会のつながりを基盤とした社会教育の推進を図る活動等を通じ、貧困の軽減、社会の発展、平和の構築に寄与することを目的とする。



ニアス島緊急復興支援事業

## ソロモン諸島沖地震・津波復興支援プロジェクト開始



津波で壊滅したギゾ島沿岸部のティティアナ村



高台にあるティティアナ村住民の避難キャンプ

4月に発生した地震・津波によって大きな被害を受けたソロモン諸島。AMDAは、機材の供与を中心とした医療支援プロジェクトの実施に向けて、7月4日館野和之調整員を派遣しました。州の保健局担当者などと復興計画について協議し、計画を策定します。

災害後の医療ニーズとして感染症予防は優先順位が高く、また、一般に当国は一級のマラリア汚染地域といわれています。ギゾ地区の基幹病院とヘルスセンターでは、予防接種のワクチン保管用冷蔵庫などが災害によって破損、故障していて、アイスパックははじめ付随的な資材や修理に必要な部品の不足も指摘されています。



### ソロモン諸島沖地震・津波 緊急支援活動

AMDAは、4月21日～5月5日、ササムンガ病院（チョイスル島）で、AMDAインドネシア支部派遣の医師がソロモン諸島政府派遣の看護師6人と協働し、24時間体制で診療を行ないました。

### ササムンガ病院の看護師長 から届いた感謝状

病院のスタッフ及び私たちの家族に代わって、二週間、ササムンガの地で私たちと共にいてくれたことに感謝します。AMDAが来てくれて本当に助かりました。被災者の診療を行ってくれたことはもちろん、災害後の悲惨なササムンガ村の状況を他のNGOなどに発信し続けてくれたことにも感謝します。AMDAが来てくれて、本当に安心しました。また、AMDAがいてくれることで、自分たちのことを心配してくれる人がいることが分かり、勇気づけられました。（以下略）

## AMDA ボランティアセンター誕生！

昨年8月1日付けで国連経済社会理事会において「総合協議資格」を授与されたAMDAは、さらなる社会的ニーズへの対応をめざし、同月記者会見で発表いたしましたとおりの組織改変を進めてまいりました。AMDAグループは、AMDAインターナショナル、AMDA:(特活)アムダ、AMDA社会開発機構、AMDA国際医療情報センター、アムダ国際福祉事業団の5団体で構成されます。緊急救援の実施とグループ本部機能を有する(特活)アムダの中に、AMDAボランティアセンターが誕生しました。「救える命があればどこへでも」の精神で、いち早く飛び出すAMDAの緊急救援を、物・心・時間・手間・能力・様々な形で応援くださるボランティアの方々のお力を、存分に発揮していただける場所としての機能を果たすことで、「多様性の共存」の実現の場にもなるものと確信しております。また、このセンターの役割の柱の一つに、御支援者への木目細やかな活動報告を行うことを掲げております。年間を通じての各地域の支援者・支援団体の方々に活動報告訪問に伺う計画を立てて参ります。訪問を御希望の方はどうぞ御

遠慮なくお申し出ください。そしてAMDAの活動に対するご意見・ご助言もお聞かせいただければありがたい限りです。このセンター内には団塊の世代のボランティアの方々により運営されるAMDA設立25周年記念資料室（AMDAジャーナル07年2月号紹介）も設置されています。様々なご経験を有する各世代の多くの皆さまのご参加をお待ちしております。どうぞ、お気軽にお問い合わせください。

電話:086-284-7730 Fax:086-284-8959

Eメール member@amda.or.jp

### AMDA シニア・ボランティア・アドバイザー 小池彰和からのボランティアのすすめ：

AMDAで活動して10年になります。様々な異文化の世界と長く広く接した社会経験を生かせる今の仕事に、ややもすると76という歳を忘れて努めています。

ボランティアのキーワードは楽しいということです。国内外の困っている人のためにあなたのできることを楽しく役立てませんか。活動内容は様々です。ご相談させて下さい。



# AJ AMDA カードがリニューアル!!

セキュリティの高いICカードへデザイン一新! 年会費も永年無料になりました。  
この機会に是非、AJ AMDAカードにご入会ください。

この1枚で国際貢献

**AJ AMDA カード**



ご入会募集中!

## AMDAへご利用金額の一部 (AJ負担) を資金援助

AJ AMDA カードは「AMDA」の活動を通じて、社会貢献(ボランティア活動の支援)をしています。  
「AJ・AMDA カード」をご利用いただいた場合に、ご利用金額の一部に相当する金額を全額AJで負担しAMDAへ提供させていただきます。(お客様への負担はありません) 現金や、他のカードでお買物されるかわりに「AJ AMDA カード」をご利用いただくだけで自動的に資金援助が行われる仕組みとなっています。

## AJ / AMDAカード特典

特典  
1

### 海外での不安を解消。頼りになるサービスデスク

イザという時、お電話1本で日本語スタッフがサポートします。

サポート 1 **トラベル&エンターテイメントサービス**  
海外旅行のあらゆる情報のお問い合わせにお応えします。

サポート 2 **緊急医療サービス**  
海外でのケガや病気は、言葉の問題もあり心細いもの。このサービスは24時間・年中無休で日本語での受付体制を整えており、医師・病院の手配などをお手伝いします。

サポート 3 **クレームサービス**  
事故や盗難などの際に、受付、必要な手配、保険金の請求受付など、親身になってアドバイスいたします。

特典  
2

### 旅行先での事故やトラブルも一切おまかせ!

#### 海外旅行 傷害保険

ご入会后、出発される海外旅行については、下記傷害保険が自動的にセットされています。

#### 海外旅行傷害保険による保険金額

- |                            |                             |
|----------------------------|-----------------------------|
| ●死亡後遺障害…2,000万円<br>(備病による) | ●救援者費用…200万円                |
| ●傷害治療費用…200万円              | ●賠償責任…2,000万円<br>(免責1,000円) |
| ●疾病治療費用…200万円              | ●携行品…20万円<br>(免責3,000円)     |

#### 国内旅行 傷害保険

旅行費用を事前にカードでお支払いいただければ、国内旅行では死亡・後遺障害を最高500万円まで保障いたします。

特典  
3

### 全国の主要有料道路もキャッシュレスで快適に!

お支払いはカードでOK、サインも必要ありません。  
全国の主要高速道路・有料道路の料金所、S.A.・P.A.でのお支払いにもご利用いただけます。料金所では、サインも必要ありません。

特典  
4

### Joyful Present ジョイフルプレゼント

ショッピングのご利用金額に応じて、ご利用代金明細書にAJジョイフルポイントの点数が表示されます。ポイントがたまる、商品券や素敵なグッズをもらえ、プレゼント! 使うことにお得が実感できます。



携帯電話、公共料金(電気、ガス、新聞など)のお支払いもAJ AMDA カードにおまかせ!

## AMDAへポイントを寄付することもできます。

特典  
5

### AJオリジナル情報誌

毎月発行、請求書に同封されます。

会員様へお得な情報をはじめ、ショッピングガイドやグルメ、旅行、音楽など旬の話題・ホットな情報が満載のオリジナル情報誌をお届けします。

## お申込み・お問合せは

全日信販クレジットセンター TEL (086) 292-4222

全日信販ホームページからもお申込みいただけます。

<http://aj-card.co.jp>